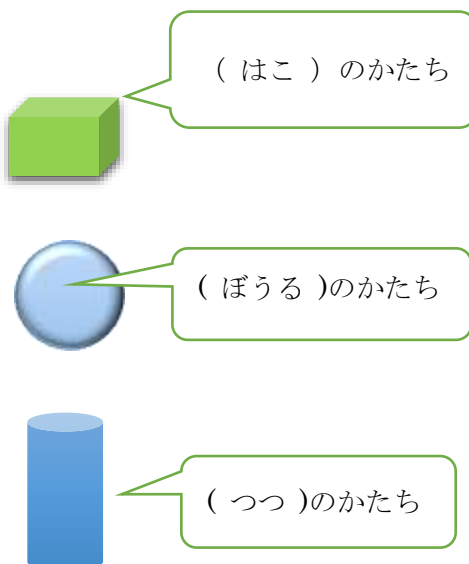
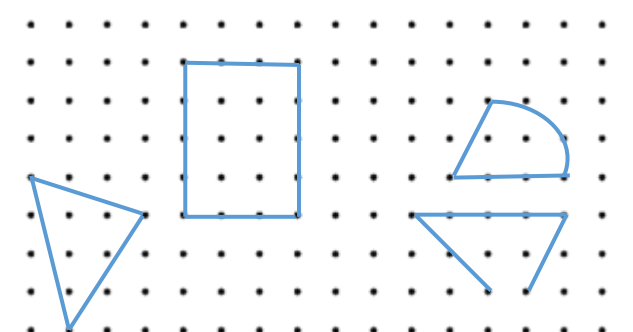
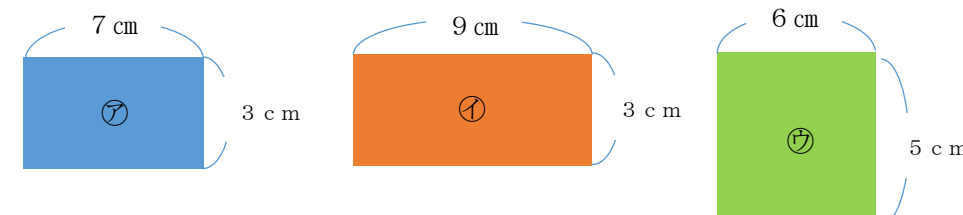


時間	No.学習活動,						
	A	B	C	D	E	F	
	<p>○共通の目標：「かたちランド」をつくろう！（算数科：1時間）</p> <p>1年：「かたちランド」に置く，オブジェを作る。（円柱・直方体・立方体を組み合わせて作る）</p> <p>2年：「かたちランド」に置く，建物の窓や屋根をデザインする。（三角形・四角形を作図する）</p> <p>5年：「かたちランド」の建物の部屋の大きさを考える。（体積の測定。1 m³の部屋を作る）</p>			<p>〈1年生〉</p> <p>1, ふくしゅう</p> <p>2, うつしれんしゅう</p> <p>3, うつしてさくひんをつくる</p> <p>4, ふりかえり</p>	<p>〈2年生〉</p> <p>1, かいてみよう</p> <p>2, 今日のもんだい</p> <p>3, 考えよう</p> <p>4, こうりゅうしよう</p> <p>5, まとめ・ふりかえり</p> <p>6, れんしゅうもんだい</p>	<p>〈5年生〉</p> <p>1, 復習</p> <p>2, 今日の問題</p> <p>3, 考えよう</p> <p>4, 交流しよう</p> <p>5, まとめ・ふりかえり</p> <p>6, 練習問題</p>	
	<p>1, 既習事項の確認をする。</p> <p>○プリントによる復習を行う。</p> <p>・今までの学習でどんな形が出てきたか想起できるようにする。（ヒントカード・既習掲示）</p> 	<p>1, ドット図に三角形や四角形を作図する。</p> <p>いろいろな三角形や四角形をかいてみよう。</p> <p>○ドット図を用意し，三角形と四角形を作図させる。作図する前に，「三角形（四角形）は，3本（4本）の直線に囲まれた形である」ことを確かめる。</p>  <p>「点の上からスタート」「線はまっすぐ引く」を徹底する。</p> <p>辺が曲がっていたり，頂点が開いたりしていても，ここでは指摘しない。</p>	<p>1, 既習事項の確認プリントをする。</p> <p>○どの四角形が一番大きいだろう。</p>  <p>①②と③は，横の長さは異なるが，縦の長さはどちらも3 cmである。そのため，計算しなくても②の方が大きいことが分かる。</p> <p>②③と①については，縦も横も長さが異なるため，単純比較では求められない。面積を求めると，② $3 \times 9 = 27 \text{ cm}^2$ ③ $5 \times 6 = 30 \text{ cm}^2$ となり，③の方が大きいことが分かる。</p> <p>よって，一番大きいのは③である。</p> <p>・②について，各図形に1 cm²の方眼野を入れておき，それを数えて比べることもできるようにする。</p>				

2. 立体から平面図形を取り出す練習をする。

つつや はこを うつして
みつけたかたちで えを かこう。

直方体・立方体

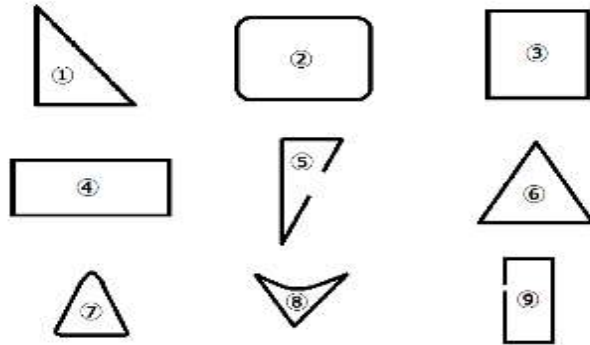
円柱, 三角柱 を準備する。

○コピー用紙に, 好きな面を紙に写し取る練習をする。

- 作りたいものを先に決めさせ, どの図形を使って表現するか考えることで, 図形の特徴を生かして絵をつくれるようにする。

2. ワークシートを見て, 図形の弁別を行う。

三角形や四角形は どれか考えよう。



三角形・四角形・どちらでもないかたちに わけてみよう。

○手元に図形を用意し, じっくりと見比べることができるようにする。

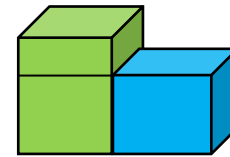
●B児は, 手元に図形を用意し, じっくりと見比べることができるようにする。

●C児は, 分かりづらい場合, 先に三角形・四角形ではない図形を教師が分け, 三角形・四角形と違う所を見付けさせる。

2. 3つの直方体の中で, どれが一番大きいか調べる。

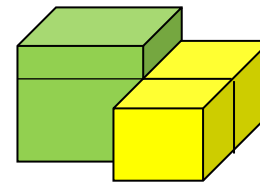
どの直方体が一番大きいか調べよう。

○パターン1



並べて高さを比べてみると, 左の直方体の方が高い。縦横の長さは同じなので, この場合左の直方体が大きいと言える。

○パターン2



高さは左の直方体が高いが, 縦横の長さは右の直方体の方が長い…。この場合, どちらの直方体が大きいのだろう?

○大きさの違う3つの直方体を準備しておき, 2つは直接比較できるがもう1つは並べて比べられないものにする事で, 「どうしてだろう」という疑問をもたせる。

3. 立体図形から平面図形を写し取り, 作品をつくる。

○まる・さんかく・しかくの3つの形を使って, 画用紙に作品をつくる。

○注意点としては,

- ・自分で丸や三角を描くのではなく, 立体を写して描くこと。
- ・丸や三角をつなぐ線や, 人・花や草などは描き加えてもよい。
- ・色塗りまですること。水彩では時間が掛かるので, クレヨンかクーピーを使う。

3. 個人思考をする。

○それぞれの図形が, 三角形・四角形・どちらでもないもののどれに分類されるかをまとめるとともに, 気付いたことをノートに書きこんでいく。

●B児は, なぜそのように分類したか理由を考えさせ, 三角形や四角形の条件に気が付くことができるようにする。

○三角形・四角形とそうでないものに分けさせ, 両者の違いをもとに三角形・四角形の特徴を理解できるようにする。

☆三角形と四角形の辺は直線であることを理解し, 説明できる。

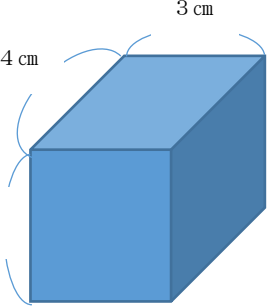
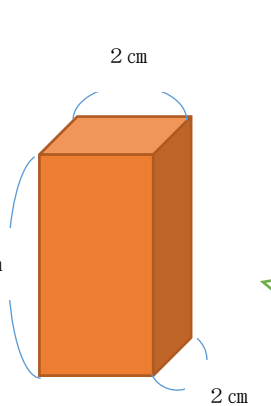
●C児は, 「()」は, _____なので, (三角形・四

3. 学習課題を知る。

並べて比べられない2つの直方体の大きさを比べる方法を考えよう。

縦・横・高さが違う直方体を比べるには, どんな方法があるだろう。

- D児は, ヒントカードを用意し, 長さの比べ方(方眼のマス目何個分かで比べた)や, 面積の比べ方(1cm²の正方形を敷き詰めて比べた)を想起させ, ある程度方法を絞って考えられるようにする。
- 長さの比べ方や面積の比べ方など, 大きさの違うものを比べるときにどのような方法を使うか想起させ, そこから着想を得られるようにする。
- 想起しにくい場合は, 第2学年の長さの単元の「方眼用紙に乗せてマス目を数える方法」と, 第4学年の面積の単元の「1cm²の正方形を敷き詰めて比べる方法」の既習掲示を用意しておき, 今回は何を単位にすればよいか考えられるようにする。

<p>用する。</p> <p>○先に決めておいたことを参考にしながら作品を作る。</p> <p>☆それぞれの形の特徴を理解し、特徴を生かして製作している。</p>	<p>角形・どちらでもないかたち) です」という話型を用意し、どの図形について、何をもとに分けたのかを説明できるようにする。</p> <p>○違いをもとに、三角形と四角形の特徴を理解できるようにする。</p> <p>☆三角形と四角形の辺は直線であることを理解している。</p>	<p>4, 2つの直方体の大きさを比べる方法を考える。</p> <p>○ものさしなどの道具を使ってもよいことを伝え、大きさを比べるための考えをもてるようにする。</p> <p>●大きさの比べ方(直接比較と間接比較)の既習掲示を用意し、それを今回も使えないか考えられるようにする。</p> <p>●思考が行き詰まった場合、1cm³の積み木を見せ、それらを使って大きさを比べられないか考えさせる。</p> <p>☆直接比較以外に、1cm³の直方体を敷き詰めて比べる方法があることを理解している。</p> <p>☆途中で諦めず、自分の言葉で説明することができる。</p>
<p>4, 出来上がった作品について、工夫したことをワークシートに書き、それぞれの図形の特徴をまとめる。</p> <div data-bbox="260 678 724 852" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○は、() につかえる。 △は、() につかえる。 □は、() につかえる。</p> </div> <p>○作品カードには、自分か作品を作るうえで工夫した所を書く。</p> <div data-bbox="268 1020 724 1147" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○と□を くみあわせて、トラックをつくりました。</p> </div>	<p>5, 自分の考えを発表し合い、まとめをする。</p> <p>「どちらでもない」に分類したものについて、なぜそう分類したのか問いかける。</p> <p>○児童の発表(予想)</p> <div data-bbox="784 801 1421 919" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑤(⑨)は、ちょう点があいているので、三角形(四角形)とはいえない。</p> </div> <div data-bbox="820 962 1421 1083" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>三角形と四角形は、まっすぐな線(直線)でぴったりと囲まれた形である。</p> </div> <p>6, 評価問題を解く。</p> <p>学習活動1で作ったドット図に作図した図形を、四角形・三角形・その他に分類する。</p>	<p>5, まとめをする。</p> <div data-bbox="1531 591 2266 716" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>同じ大きさの積み木がいくつ分か調べることで、どちらの直方体が大きいか比べることができる。</p> </div> <p>6, 評価問題を解く。</p> <div data-bbox="1539 819 2068 938" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>次の直方体は、積み木がいくつ分だろう？</p> </div> <div data-bbox="1520 981 1882 1286"> <p>㊦</p>  </div> <div data-bbox="1950 987 2573 1271" style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>上の面を開けることができる直方体を準備しておき、中に積み木を詰め込んだり、上を閉じた状態で、横に同じ大きさの積み木を積んでみたりして、1cm³の積み木が24個分の大きさであることを確かめる。</p> </div> <div data-bbox="1520 1309 1882 1711"> <p>㊧</p>  </div> <div data-bbox="1950 1412 2573 1696" style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>1段4つが5段重ねになっているので、$4 \times 5 = 20$になり、使われている積み木は20個である。計算方法は重視しない。1つつ数えるのも良しとする。</p> </div>